

拒絶理由通知書

特許出願の番号	特願 2 0 0 0 - 1 3 3 8 6 4
起案日	平成 1 6 年 1 0 月 2 0 日
特許庁審査官	守安 太郎 9 3 4 7 4 X 0 0
特許出願人代理人	志賀 正武 (外 5 名) 様
適用条文	第 2 9 条第 1 項、第 2 9 条第 2 項

この出願は、次の理由によって拒絶をすべきものである。これについて意見があれば、この通知書の発送の日から 6 0 日以内に意見書を提出して下さい。

理 由

1. この出願の下記の請求項に係る発明は、その出願前に日本国内又は外国において、頒布された下記 of 刊行物に記載された発明又は電気通信回線を通じて公衆に利用可能となった発明であるから、特許法第 2 9 条第 1 項第 3 号に該当し、特許を受けることができない。

2. この出願の下記の請求項に係る発明は、その出願前日本国内又は外国において頒布された下記 of 刊行物に記載された発明又は電気通信回線を通じて公衆に利用可能となった発明に基いて、その出願前にその発明の属する技術の分野における通常の知識を有する者が容易に発明をすることができたものであるから、特許法第 2 9 条第 2 項の規定により特許を受けることができない。

記 (引用文献等については引用文献等一覧参照)

(1) 上記理由 1 及び 2 について

< 請 求 項 > 1

< 参考文献等番号 > 1

< 備 考 >

この出願の請求項 1 に係る発明と引用文献 1 (第 6 欄第 2 2 行乃至第 7 欄第 5 行、【図 1】の d、【図 2】の a を特に参照) に記載された発明とを対比すると、引用文献 1 に記載された発明の「凹状の溝」及び「液状ゴムシール」は、この出願の請求項 1 に係る発明の「溝部」及び「液状シール」にそれぞれ相当する。

(この出願の現在の請求項 1 に記載された「固体高分子電解質のはみ出し部に対応する位置に各々溝部」は、「溝部」を設ける位置を漠然と表現した記載であるので、引用文献 1 の図面に記載された「凹状の溝」をも包含するものと認めざる

2. 特開2000-133288号公報
3. 特開昭61-143946号公報
4. 特開平07-249417号公報

この先行技術文献調査の記録は、拒絶理由を構成するものではない。

この拒絶理由通知の内容に関する問い合わせ先
特許審査第三部電気化学 審査官 守安 太郎
電話 03-3581-1101 内線6721